

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2690800012		
法人名	株式会社ユニマツそよ風(営利法人)		
事業所名	東山ケアセンターそよ風(桜)		
所在地	京都市東山区本町18丁目386-1		
自己評価作成日	平成26年10月1日	評価結果市町村受理日	平成27年1月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/26/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigyosyoCd=2690800012-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成26年11月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>寄り添いの時間を大切にしています。また出来る能力を大切にし、伸ばす事に力を入れています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当該ホームでは利用者はベランダから見える自然や四季の移り変わりを感じながら穏やかに過ごされています。併設している通所介護の利用者との出会いは地域の方との交流や馴染みの関係を築く場となり、ボランティアの方との交流や様々な催しを共に楽しむ機会にもなっています。理念に利用者の尊厳やゆったりとした生活、家族や地域に開かれた場にしたいなどの思いが込められ、日々の関わりから得た利用者の出来る事などを見極め職員間で共有し、利用者の持っている力を引き出し一人ひとり合わせた暮らしが提供できるよう努めています。家族の面会時には利用者の様子を知ってもらえるよう介護記録に目を通してもらったり、家族の意見から入浴の様子も分かるよう記録を工夫するなど家族の意見や要望にも真摯に向き合い対応し、信頼関係を築いています。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時、会社の理念を唱和。GHの理念も唱和行い共有・確認行っている。利用者様を地域から孤立させることなく「共生」を目標にし、理念に基づき地域社会の一員として生活して頂けるように努めている。	法人の理念の基、職員の意見をセンター長がまとめ独自の理念を作り、事務所や玄関、エレベータ前に掲載し、意識づけしています。会議の中で理念に沿った日々の支援や接遇マナーの確認を行い、新人職員には朝礼時や日々のケアの中で具体的に伝えていきます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り地域との繋がりを持っている。地蔵盆や敬老会等の地域行事へも参加している。また地域の古紙回収にも協力している。散歩時等近隣の方と会った際は挨拶を交わしている。	町会に加入し回覧版から地域の情報を得て地蔵盆や敬老会に出向いたり、地元での買い物や散歩時に出会った方と挨拶を交わしています。傾聴ボランティアや併設のデイサービスに来る踊りや社交ダンス、大学生の落語のボランティアの訪問時に交流しています。施設の秋祭りは老人会などの地域の方の参加を得て開催しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事へ積極的に参加している。事業所の主催する秋祭り・見学会等に地域の方々も参加して頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で頂いた、ご意見等を職員一同把握し、サービスの質の向上に努めている。待機待ちの方にも情報公開として、運営会議の資料を半年に一度送付している。	地域包括支援センター職員や町会副会長、地域住民、家族、利用者等の参加の下隔月に開催し、ホームの近況や事故、行事等の報告後に一人ずつ意見や助言を言ってもらい、サービスに活かしています。不参加の家族には議事録と資料を送付し、会議の内容を報告しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の報告書を区役所へ届けに行っている。	運営推進会議の議事録の提出や分からない事があれば行政の窓口へ出かけ、電話でも相談しています。行政主催の研修の案内があれば内容によっては参加し、情報交換しています。今後は介護相談員の受け入れを再開したいと考えています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会を設置。会議の中で勉強会を実施し理解を深めている。センター前の道路は車両の往来が多く危険な為、玄関の施錠は行っているが、外気浴等を通じて拘束感のないように努めている。	接遇マナー研修の中で行動を制止する言葉遣いについて学んだり、身体拘束については定期的に勉強会を行い、新人職員には日々の中で指導しています。玄関は施錠していますが、フロアやエレベータは自由に出入りができ、外に行きたい方には一緒に付き添い、気分転換を図り閉塞感のないように努めています。併設のデイサービスの職員の見守りの協力も得られています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で勉強会を実施している。入浴時や更衣時等身体の確認を行い、日々注意を払っている。		

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議時に勉強会を実施し、理解を深めるように努めているが、支援例はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には原則2名体制で対応し、十分な時間を取ってご説明し、質問等に対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族交流会、ご面会時等に、ご意見・ご要望をお聞きする機会をもち、サービスの質の向上に努めている。また玄関先にはご意見箱を設置している。	運営推進会議や家族交流会、面会時に意見を聴いています。家族の意見より体操を日課にしたり、デイサービスの玄関からホームへ直接出入りができるよう改善しています。また食事や入浴時の様子が分からないとの声により家族会で食事を食べてもらったり、入浴の状況の記録も作り、面会時に家族に見てもらう事で更に意見をもらえる等、家族の声をサービスの質の向上に繋げています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議・GH会議時等、センター長や管理者と直接話ができるような雰囲気作りを心掛けています。定期的な面談も行っている。日常的にコミュニケーションを取るように努めているが、まだまだ十分ではない。	フロア毎やユニット合同で行う会議の他、リーダー会議やセンター長と管理者が定期的に行う面談や非常勤職員の契約更新時の面談等、職員の意見を聴く機会が多くあります。職員の意見より業務分担を見直したり、物品購入や修理など日々の業務で気づいた意見を取り入れています。案件によっては法人に上げ検討してもらっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を行い、評価をしている。スタッフにゆとりがなく、日々の業務に追われている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員に対して、トレーナー制度を取り入れている。研修への参加や勉強会を行いサービスの質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修を通じて、同業者との交流を図る機会や、系列の他センターへ行く機会も持ち、サービスの質の向上に努めている。		

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前の個別面接にて、可能な限りご本人の意向をお伺いしている。またご入居後も常にご利用者様の不安を傾聴し、安心して頂けるよう努め、信頼関係の構築を心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前の個別面談にて、ご家族様よりお困り事・ご不安な事等お聞きし対応している。ご入居後も面会時等に日常生活のご様子をご報告し、ご要望等お伺いし良好な関係を築いていけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様やご家族様の意向を把握し、出来る限り、ご協力出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事等お手伝いして下さっている。共に協力しながら暮らしを共にする者としての関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お誕生日会等にご家族様お誘いし、ご本人と家族様の絆を大切にしている。利用者様の事をお尋ねし、情報収集しケアに生かしている。常に利用者様と共に支え合う関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様・ご友人・ご親類の方もご面会に来られている。ご家族様とご自宅に帰られたり、お墓参りや外食にも出掛けられている。電話の取次ぎも行い、馴染みの方との関係が途切れないように努めている。	友人や知人、親戚の方の面会時には居室へ案内し、ゆっくり寛いでもらい、帰られる際には利用者さんと玄関まで見送りをしています。利用者から聞いた思いを家族に伝え、仏壇を見に帰ったり、自宅前の喫茶店や家族と馴染みの理美容に通う方など家族の協力を得ながら支援をしています。手紙や暑中見舞いの文章と一緒に考えたり、投函の支援をするなど関係が継続できるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席配置等の配慮し、日常生活の中で自然に関わり支え合って頂けている。また孤立される方の無いうように配慮している。歌や体操・百人一首・脳トレ等されご利用者様同士の会話も楽しまれている。		

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されてからの、ご相談等ほとんどない。今後そのような事例があれば対応に努めていきたい。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のご意向をお伺い把握し、意思決定を尊重して頂けるように努めている。またご希望を取り入れるように努めている。	入居に向けた面談の中で本人・家族から聴いた生活歴等をアセスメントシートに記入し、前のケアマネジャーからも聴き、思いを把握しています。日々の介護記録には関わりの中で気づいた事や利用者の様子が記され、面会時に家族に開示しています。思いの把握が困難な時はサービス担当者会議で利用者の様子を話し合い、思いが把握できるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やご本人の会話の中から、生活歴や生活環境の把握に努めている。またセンター方式も活用し、情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェック実施し体調の把握に努めている。申し送りノートや介護支援経過記録を活用し情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやアセスメントを定期的を実施。モニタリングは毎月実施している。ご本人様やご家族様からのご希望もお聞きするように努め、ケアプラン作成に努めている。	アセスメントや本人・家族の思い、意向を基にサービス担当者会議を開き、介護計画を作成しています。毎月、ケアマネジャーや計画作成者、職員がモニタリングを行い、サービス担当者会議の中で3か月毎に評価し、見直しています。面会時や電話で聞いた家族の意見や医師や薬剤師の意見は事前に聞いて介護計画に反映させています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノート等を活用し、職員間で情報の共有を図り、ケアプラン見直しに生かしている。ケアプランを実施したら、介護支援経過記録に印を入れている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調不良時の病院付添い等。その時々ニーズに応じてお一人、お一人支援している。		

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事に参加し地域との交流を図っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に内科や歯科往診を受けられている。訪問看護も週1回来て頂いている。医師や看護師に相談し関係が築けている。	これまでのかかりつけ医を継続されている方も定期的に協力医の往診を受け、希望者は週1回訪問歯科を利用しています。かかりつけ医や専門医への受診は家族が付き添い、情報提供は口頭や書面で行う時もあり、受診結果はその都度確認しています。緊急時は主治医の指示のもと、契約時に確認した搬送先へ職員が付き添っています。訪問看護師は24時間相談できる体制があります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日中体調の変化等があれば、DSの看護師に報告し指示を仰いだり、診て頂く等連携を図っている。訪問看護師にも相談している。提携病院にも電話等で相談し指示を仰ぎ対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はカルテを持参し、薬の説明書や診療情報提供書等確認して頂いている。また電話や面談にて情報交換にも努めている。往診時等に相談や助言も頂き、連携を持つように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	必要に応じて個別に対応している。往診時にご家族様と医師がお話をされる場も持って頂いている。ご家族様のご意向により、他施設への入所申込み等も行っている。	契約時に看取りの指針に基づいて説明し、同意書ももらっています。その時々状況や終末期については主治医から家族に説明しています。治療を希望される時は入院や他施設への申し込み等の支援を行い、医療が関わらない場合などホームで最期を希望される時はできる限りの支援をしたいと考えています。看取りの研修を実施し学ぶ機会を持っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルや緊急連絡網を掲示している。消防署の職員による、普通救命講習を受講。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防避難訓練実施。利用者様も参加されている。全職員が参加出来ないが、訓練記録にて伝達勉強会を行っている。災害時は地域の方にもご協力頂けるよう自治会にて話の場を持っている。	消防署の協力の下夜間を想定した独自の訓練を行い、併設施設と合同で行う訓練は昼間を想定し実施しています。火元や利用者の所在の確認や避難誘導などの訓練をしています。地域の避難訓練に参加し、避難場所の案内を目につく場所に掲示しています。運営推進会議で消防訓練の案内と報告を行い、自治会に協力の依頼に出かけています。また備蓄を準備しています。	

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけには配慮しているが、強い口調等不適切な言葉かけをしている時もある。	接遇マナーについて全体会議やユニット合同の会議で研修を行い学ぶ機会を持ち、欠席者には資料を配布しています。法人のマナーアップアンケートの結果は玄関に置く等、職員に周知しています。不適切な言葉遣いや対応があればその場で注意を促したり、職員間でも注意し合い、管理者は利用者の尊厳に配慮したケアを心がけるよう伝えています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人に、思いやご希望をお伺いし、自己決定して頂けるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のペースを大切にし、ご本人のご希望に沿った支援に努めている。時として職員の都合を優先してしまっている事もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分でその日に着る洋服を選ばれたり、化粧をしている方もおられる。ご希望者へ、マニキュアを塗りおしゃれを楽しまれる機会を確保している。月1回の訪問理美容もご希望あれば利用されている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルを拭いたり下膳や食器拭きをお手伝いして下さっている。また稲荷寿司作りも楽しんでされていた。職員はご利用者様と共に食事をしている。	法人からの献立を基に食材を発注し、食材を見て利用者に希望を聞いてメニューを決めています。利用者は盛り付けや食器を拭いたり下膳等、出来る事に携わっています。誕生会には希望を聞いて鍋やすき焼き、出前の寿司や豪華な弁当を取るなど個々の希望を聞いています。職員も利用者と食卓を囲み団欒の一時を楽しめるよう支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量をチェック表に記入。水分摂取が少ない方には摂取して頂けるよう努めている。体調や状態に合わせた食事形態や介助を行っている。野菜を沢山使用した食事の提供を心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケア実施して頂いている。介助が必要な方には口腔ケアスポンジ使用し対応。夜間は義歯をお預かりし、義歯洗浄剤使用し清潔保持に努めている。		

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を常に心がけ、チェック表活用し、トイレ誘導が必要な方には、定期的に声掛け誘導を行っている。	個々の排泄チェック表でパターンを把握し、定期や随時に声かけや誘導を行い、排泄のサインや様子も見ながら立位の取れる方にはトイレで排泄できるよう支援しています。利用者の状況を見ながら職員間で本人に合った排泄用品について話し合い、変更する時は家族にも相談しながら失敗が減り、自立に向かえるよう努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜ジュースや牛乳、バナナ等を用いた飲み物を朝にお出しし、便秘の予防に努めている。また野菜を沢山使用した食事になるように努めている。体操等身体を動かす機会も持って頂いている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午前・午後共に入浴して頂けるように努めている。ご本人のご希望やタイミングに沿えるように配慮しているが、職員の都合となっている事もある。入浴中スタッフとの会話も楽しまれている。	毎日入浴の準備を行い、週2回を目安に日中の時間帯に利用者の様子や曜日を見ながら順番に声をかけ、その方のペースで入ってもらっています。柚子を使った季節湯や好みのシャンプーを使う方、歌を歌って楽しむ方など習慣も大切にしながら工夫しています。拒否の方にはタイミングや職員を変えたり、翌日に入浴してもらうなど無理の無いよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝を希望される方や、体調に応じて居室にて休んで頂けるよう支援している。気持ち良く眠って頂けるよう、室温調整にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はいつでも確認できるようカルテに挟んでいる。薬の変更があった際は、申し送りノートを活用し情報の共有に努めている。服薬時は服薬チェック表を確認。またスタッフ間でダブルチェックも実施。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ペン習字や脳トレをして頂く機会を持って頂いている。お誕生日会や季節の行事も実施し楽しみのある生活を送って頂けるよう努めている。家事もお手伝いして頂く機会を確保している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	祇園祭鉾見学ドライブ実施。散歩や外気浴も実施している。ご家族様と共に墓参りやドライブ、外食も楽しまれている。	ホーム前で外気浴をしたり、花壇を見に行き、時には隣接する東福寺まで出かけています。桜の季節にはドライブで花見に行ったり、小学校で行われる敬老会や地藏盆などの地域行事に出かけています。体制が整えば、外出の機会を増やしたいと考えています。	職員は外出の機会を増やしたいと考えられています。体制が整えば少しずつ日常的に外気に触れる機会が増えることに期待します。

東山ケアセンターそよ風(桜)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はセンターにて管理している。お金を使用して頂く機会が持っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話ご希望時はおかけしている。ご家族様やご友人の方からの電話も取り次ぎお話されている。手紙が届いた際はご本人様にお渡ししている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	障子やカーテンで光を調整。室温にも配慮している。トイレにはわかりやすいよう目印をつけている。お誕生日会や季節の行事の際には飾り付けを行っている。廊下には利用者様の写真や作品を掲示している。	リビングからは竹林や紅葉などの四季の移り変わりを眺めることができ、障子を使った和風の設えの中に生花や季節の飾りつけを行い、落ち着いた空間となるよう工夫しています。ソファやテーブルの配置にも配慮し、寛げるスペースの中でテレビを見たり、新聞を読む方等、利用者は思い思いに過ごされています。フロアの掃除は利用者と一緒に毎日行い、温・湿度の管理や加湿器を置き、快適に過ごせるよう努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間ではお一人になられる空間はないが、気の合う利用者様同士で座って頂けるよう座席に配慮している。またソファで過ごして頂ける空間もある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族や思い出の写真を飾られたり、ご自宅で使用されていた仏壇、家具や装飾品をお持ちになられている。TVも置かれ、お好きな番組を見られている。	居室にはクローゼットや備え付けの棚が用意され、大切にしている仏壇や使い慣れたベットや家具、ソファ、テーブル、化粧箱等が持ち込まれ、使い勝手の良さを聞きながら安全に配慮した配置を考えています。自作の絵を飾ったり、俳句作りや新聞、聖書を読む習慣を活かせる居心地の良い居室となるよう工夫をしています。出来るだけ利用者と一緒に掃除を行い、清潔な居室が保てるように努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内バリアフリーであり、杖や押し車、車椅子を使用し、各自の身体機能を活かし過ごされている。居室入口には各自の名前を記載し確認して頂けるようになっている。トイレにも目印を付けている。		